



巻頭言

こどもセンター（新生児部門）准教授 / なかの中野 ゆうや有也

昭和大学江東豊洲病院の周産期センター及びこどもセンターでは、「地域周産期母子医療センター」として母体や新生児の搬送を受け入れ、地域の周産期医療に貢献しています。

妊娠中に特に問題を指摘されていなかった場合でも、分娩中に予想外の事態が生じるリスクは常にあるものです。こどもセンター（新生児部門）では、例えば出生時に「呼吸をしていない」「ぐったりしている」などのいわゆる“新生児仮死”の状態の赤ちゃんを蘇生し、必要に応じて新生児集中治療室（NICU）に搬送して治療をおこなっています。

また出生体重の小さな未熟児や生まれつき病気のある赤ちゃんを NICU にお預かりして、退院までのお手伝いをしています。NICU は専属の医師（新生児担当医）が常に配属されており、24 時間 365 日診療にあたる特別な場所です。他の病棟と比較してかなり看護師の数も多く、医師とメディカルスタッフが連携して診療にあたっています。

当院は「女性とこどもにやさしい病院」を基本方針に据えております。また昭和大学医学部小児科学講座は昔から新生児科学に造詣が深く、特に新生児栄養の分野で日本の新生児医療をリードしてきました。

近年、「子宮内や生後早期の環境がその人の生涯の体質や疾病リスクに大きな影響を与える」ことが知られるようになりました（DOHaD 学説）。最近では未熟児の救命率が大きく向上していますので、長期予後の重要性が再認識されています。未熟児の長期予後をさらに改善させるために NICU での急性期管理をどのようにすべきかを模索することで、未熟児やそのご家族の未来を守ることが私たちの大きな目標です。

当院では、NICU を退院した後の未熟児の成長・発達のフォローアップにも力をいれています。未熟児は NICU 退院後も小柄で発達の遅れが生じやすい傾向にあります。また思春期から成人に近づくにつれ、生活習慣病や慢性腎臓病などさまざまな病気になりやすいこともわかっています。昭和大学江東豊洲病院のこどもセンター（新生児部門）では、未熟児の長期フォローアップにおいて顕在化するさまざまな問題の評価、問題解決に取り組んでおりますので、ご興味のある方は是非ご相談ください。

また、全ての女性やそのパートナーがこの施設で分娩したいと思うような周産期センターを目指してスタッフ一丸となって頑張りたいと思います。ぜひ応援をよろしくお願いいたします。



第115号のトピックス

- 巻頭言（こどもセンター）
- 認定看護師紹介
- 江東区医師会主催『区民公開講座』で講演しました
- DMAT 大規模地震時医療活動訓練に参加しました
- 創立記念日休診のお知らせ
- 江東豊洲病院開院 10 周年に向けて Part5
- 編集後記

認定看護師の紹介

当院には日本看護協会の認定を受けた、特定分野の看護技術と知識をもった看護師が在籍していますので、ご紹介いたします。

緩和ケア認定看護師 / 看護部（外来化学療法室） きしもと ゆきえ 岸本 幸恵

私は外来化学療法室に勤務している緩和ケア認定看護師です。2人に1人が生涯でがんになる時代になり、外来通院で治療を受けながら病気と向き合っている患者さんが多くいらっしゃいます。

病気による痛みや抗がん剤の副作用等の身体的苦痛があるなかで仕事や学校、家事といった日々の生活で患者さんも御家族も不安やストレスを抱えておられると思います。

私は緩和ケア認定看護師として、「その人らしく」ということを大切に、サポートしたいと考えています。痛み止めなどの薬剤の使い方や日常生活について助言し、お気持ちに寄り添ってお話を伺い、多職種と連携し看護しながら全人的苦痛の緩和に向けて看護を行っています。

様々な思いを抱えながら病と向き合う患者さんと御家族が安心して「その人らしく」生活できるように、そして笑顔で過ごせるように支援をしていきたいと思っています。



糖尿病認定看護師 / 看護部（外来） いいの りか 飯野 里佳

糖尿病認定看護師は、糖尿病を持ちながら生活する人が合併症の発症や悪化を防ぎながら、その人らしく健やかな生活ができるようにセルフケアや療養生活を支援する看護師です。

現在私は外来に所属しており、週1回皮膚科医師や義肢装具士と足の専門外来を担当しています。専門外来では糖尿病患者さんも多く、合併症の一つである足のトラブルに対して専門的指導、ケアを行っています。

糖尿病患者さんは神経障害や血流障害などで足に傷ができやすく悪化しやすいため、発症予防と早期発見、早期治療が重要です。その為には患者さん自身が日々足を守るケアをしていく必要があります。

私自身、まだまだ勉強中で力不足ではありますが、足の観察方法や洗い方、爪の切り方や水虫、巻き爪、タコのケア、靴の選び方などをお伝えしながら、患者さんの足の状態だけでなく全身状態や生活の状況、大切にしている事や思いに合わせた支援ができるように心がけています。



江東区医師会主催『区民公開講座』で講演しました

産婦人科教授（江東区医師会学術委員会委員） / おおつき かつらみ
大槻 克文

9月30日（土）に江東区医師会主催『区民公開講座』が開催され、当院産婦人科・近藤哲郎准教授が、『不妊治療の現状「保険診療が始まって」』というタイトルで講演しました。不妊治療の歴史、特に体外受精の歴史を絡めた内容で、保険診療範囲の拡大のメリットなどを中心に話をしました。一般区民だけでなく、医師会員の医師も聴講され、講演終了後には多くの質問をいただき、改めて不妊診療の注目の高さを感じました。

不妊診療、特に体外受精にも保険診療で対応可能な範囲が拡大し、お子さんを希望される方々にとっては朗報であります。一方で、患者さんのみならず、社会全体としてサポートしていく体制の必要性が求められています。当院も開設理念のひとつである「女性とこどもにやさしい病院」として、お子さんを希望される方々の支援体制充実を高めるべく、本年度内に体外受精診療を開始する予定です。



座長・大槻教授



近藤准教授の講演の様子



DMAT 大規模地震時医療活動訓練に参加しました

DMAT 隊員（看護師） / ひらやま ゆうき
平山 裕貴

9月30日（土）政府の大規模地震時医療活動訓練へ DMAT 隊員 4 名が参加しました。

南海トラフ大地震により四国・九州を震源地とした災害時医療訓練を行いました。民間航空機で高松空港に参集後、土佐市民病院までレンタカーを使用し、移動しました。土佐市民病院内に設立された「高知西・高幡 DMAT 活動拠点本部連絡調整部門」に配属され、衛生電話を使用した連絡調整を行いました。連絡調整では、患者の受け入れや交通手段がない中で、航空機や船を使用した患者搬送方法を検討し、重症患者の搬送調整を行いました。



左から、倉富看護師、平山看護師、高田業務調整員、佐々木医師

大規模地震発生時は普段使用している携帯電話やインターネットが使用できない可能性があります。患者搬送を行う上で情報の交換がいち早く行える衛生電話の使用は、DMAT 活動の大事なツールになります。今回の訓練を生かして、災害発生時に迅速に連絡調整が行え、患者搬送、受け入れができるよう努めて参ります。

創立記念日休診のお知らせ

2023年11月15日（水）は、昭和大学創立記念日のため休診となります。
あらかじめご了承ください。



江東豊洲病院開院 10周年に向けて Part5

昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、今年10年目を迎えました。
病院だよりでは数回にわたって病院の沿革を皆さんにご紹介します。

当院は、病院機能評価と卒後臨床研修評価を受審し、初回認定を受けました。
引き続き、質の高い医療の提供、質の高い臨床研修環境の提供に努めてまいります。

2020年4月3日 日本医療機能評価機構 病院機能評価 認定

国民が安心して安全な医療を受けることのできる体制の構築を目的として、組織全体の運営管理および提供される医療について機構が総合的に評価し、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力していると認められた病院が認定を得られます。

2021年4月1日 卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修評価 認定

国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与することを目的としています。機構による書面及び訪問調査による評価を受審し、一定の基準を満たした病院が認定を得られます。

編

さざんか
山茶花が咲く頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

集

先日、家で過ごしていると外から「わっしょい！わっしょい！」という掛け声が聞こえてきました。
新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていた町のお祭りも徐々に開催されていることを実感し嬉しく思いました。皆様の町ではお祭りの掛け声は聞こえてきましたでしょうか。

後

皆様はお祭りによく使われる「わっしょい」の掛け声の語源をご存知でしょうか。重い神輿を皆で一つになって「和して背負う」という意味の「和背負え(わしよえ)」や皆で一つになって力を合わせる「和一処(わいっしょ)」または「和一緒(わいっしょ)」が「わっしょい」に変化したという説があるそうです。また、ヘブライ語や韓国語が由来であったという説もあるそうで、どの説も興味深いなと思いました。

記

来年も「わっしょい！」と活気ある掛け声が聞けることを楽しみにしたいと思います。

臨床病理検査室 みやくに 宮國 まさみ 眞澄



昭和大学
SHOWA University

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

Showa University Koto Toyosu Hospital